

NVC Monthly

同好会ニュース

寝屋川映像同好会会報

第55号(201402)

発行 竹田幸男



新年昼食会 & 1月例会

寝屋川映像同好会の今年の活動始めは、1月10日(金)恒例の新年昼食会。それぞれの近況や、四方山話から、今年の抱負など、自由に語った後、ビールのほろ酔いを冷ましながらか市民活同センターへ移動、今年初めての例会を実施。作り貯めた作品を披露して今年の活動が動き出しました。5月には第9回映像フェスティバルを控え、いい作品作りを目指してスタートを切りました。



例会の窓

平成26年1月例会

日時 平成25年1月10日(金)

11:40 ~ 「新年昼食会」がんど 寝屋川店

13:30 ~ 16:30 「1月例会」

寝屋川市民活動センター

4階 ワーキングスペース

出席者：新井 石田 小林 佐伯 竹下 竹田 田淵 富田

(50音順・敬称略) 欠席者：2名

例会次第

1. 各会員の最近の活動状況・情報交換

2. 報告・連絡・協議事項

(1) 撮影会の考え方

- ・一つの方向は共同作品作り
- ・二つ目は目的を持った作品作り。
- ・三つ目は親睦重点

(3) 映像フェスティバルの準備

- ・今年5月31日(土)なので2月には出品候補が固まっていること。
内容の修正改善は3月一杯可。

(4) 第3回文化連盟展

- ・5月25日(日)
- ・現在出品作選考中、30分の時間内で4作目標、最大8分、できれば7分以下で。

(5) 同好会ビデオ作品発表会

- ・26年秋~27年春予定、映像フェスティバル出品作+1~2作

3. 映写・合評

(1) 服部緑地 飛騨白川の民家 DVD 富田さん 7分29秒

- ・12月撮影会のもの、撮影したままの無編集作品。

(2) 美山 DVD 富田さん 約5分

- ・上と同じく撮影したままの無編集作品。編集ソフトのマスターを期待したい。

(3) 晩夏のヨセミテ国立公園 BD 竹下さん 9分30秒

- ・絶景、奇景が盛りだくさん。音は現地音のみ、完成作を期待します。

(4) 映像散策 AVCHD 竹田さん 22分

- ・あさひ丘自治会祭り作品展へ出した作品、国内の紅葉2編(南禅寺・談山神社)と海外2編(ニース・ブルージュ)をまとめ、BGMとして作ったもの。

出す場所により、このような作品が求められる場合があると思う。

(5) 成田山 AVCHD 新井さん 約10分

・ 昨年の節分豆まきを撮影した作品。今年は新井さんが豆まきに参加する予定。

(6) 囲碁将棋街作りの会を訪ねて DVD 新井さん 10分

・ 住吉神社、市民会館、香里園等各地の行事を集成した作品。

(7) プロの棋士を目指す ある少女の挑戦 DVD 新井さん 10分

・ いい題材であるが、個人情報保護の観点から、主催者と本人(家族)の理解が必要な作品。

4. 来月の開催日 2 / 14 (金) こども部屋

次回のカメラ当番(谷さん)



記録を残す

田 淵 健 二

私が「記録を残す」きっかけとなったのは、

お盆で 父母の郷のお墓参りの時、これは誰のお墓で、と説明をしてもらうが、直ぐに忘れてしまう。

結婚をして 冠婚葬祭などで家内の郷に行くと、誰々さんと云われてもピンとこないし、どんな関係の人なのかも わからない。

父が手書きで、先祖代々と我が兄弟の記録を細かく書き残しており、父が他界の後、誰か続けなければと云っていたが、多忙に紛れ そのままになっていた。

いろんな会の世話役を引き受けるが、過去の記録が残っているものは少ない。

などあり、聞いてもその場が終わると特に必要性を感じないので、そのままになり、又同じような場面に遭遇しても 同じ様なことを繰り返すだけ。

歳をとり 子供達も大きくなり関心を持つのは、せいぜい 甥・姪ぐらい迄。これでは駄目だと思い、記録を残し、後世に残るようにしなくてはと思い手書きで始める。

現役・OBで65歳まで引き続き仕事をしていたが、パソコンは 何時も女子社員の方をお願いしていたので、仕事から解放されれば パソコンと縁がなくなると思っていたが 間もなく寝屋川支部の地区委員を引き受け新聞発行を担当する。

パソコンが駄目なので、手書きの新聞をと提案するが駄目だと言うことになり諸費用を含め約30万円投入し Panasonic AVノートパソコン(人~CF-XF1D)を購入。独学で勉強し切り貼りの新聞を発行する。

この歳になってパソコンの面白味が判り、写真もデジカメ時代になり写真編集をするが、パソコン性能に物足りなさを感じるようになり X P・Vista・7 など試みるも流れについて行けず X P の使い勝手から卒業出来ないのが現状である。

地区委員を4年担当、支部新聞の歴史を整理し現物も集め次の担当に引き継ぐ。又、各種出来事は基本的に写真をA4 - 1枚に纏めたいと思い 支部の行事には積極的に参加し、行事毎にファイルをつくり、地区委員を退任する時に一式支部に渡す。

改良を加え現在も続けてくれているようで、有難く思っている。

主な記録（写真を中心にコメント付加）

我故郷を中心に親族の「系図」「慶事・弔辞・法要」の写真・内容の記録。

故郷の「墓地管理状況」「お墓参りの順番と範囲」

「孫の成長記録」(誕生から各種行事)

「年賀状作成記録」(昭和36年より現物残す)

「日記」(3年・5年日記に挑戦したが、歯抜け多く現在は10年日記で2冊目)

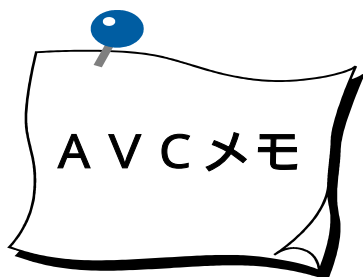
「家計簿」(行事のある日に出金額を記入し後日の参考に活用～収支は無視)

「購入記録」(車、無線・電化商品など品目毎に一覧表作成)

世話役担当の「活動記録」(会毎にファイルを作り世話役交代の時はファイルを渡す)

主な内容は上記のような物だが、毎年元旦にこの一年 何を目標に活動するかを決めているが、今年は満77歳で喜寿を迎えるので元気で活動出来るひとつの節目ではと思い「片付ける」を目標に活動することに決めた。

「故郷に残す」「我家に残す」ものなど明確にして「日日完結」の気持ちで頑張っています。



親指と人差し指の葛藤

竹田 幸男

今まで無意識に使ってきた指の使い方について、ある日、突然気がつきました。

それは、カメラ関係です。

皆さん、スチルカメラのシャッターボタン（正しくはリリースボタンと言うらしいですが）は、どの指で押していますか。そう、まず人差し指ですね。

カメラを両手で構えて（このごろは片手で撮す人もいますが）シャッターボタンを押そうとすると、その位置には自然と人差し指が来ます。それも右手の人差

し指ですね。今のスチルカメラは例外なくこの位置にあります。

以前、二眼レフ（レフレックス）というカメラがありまして、正面から見て左下（カメラマンから見て前面の右下）に押し込む形のシャッターボタンがついていましたが、カメラを構えて、さてシャッターボタンを手前に押し込もうとすると、やはりこの位置には右手の人差し指が来てしまいます。スチルカメラのシャッターボタンというのは、右手の人差し指で押すもの、と、決まっていたようなものです。

例外として縦位置撮影の場合があります。これには2つの構え方がありまして、右手を上、左手を下に持ってきてカメラを縦位置に構えればシャッターボタンは右手の人差し指になります。もう一つの構え方は、左手を上、右手を下に縦位置に構えれば、シャッターボタンは右手の人差し指より親指の方が押しやすくなります。皆さんはどうされていますか。

そこで、次にビデオカメラを考えてみます。これは、どういうものか、右手の親指ですね。ビデオカメラは、殆どは前後の奥行きがあり、右手はカメラの側面にあるベルトの中に差し込んで握るようになったものが多く、そうなるのは右手の親指、これでシャッターボタンを押します。あいている人差し指は、ズームレバーの操作に使います。ビデオカメラの場合は撮影時間が長いので、撮影の開始時に一度押し、撮影の終了時に、もう一度押します。ビデオカメラに似たものとしては、かつての8ミリフィルムカメラですが、これはスチルカメラに似て、右手の人差し指を使いました。ただしスチルカメラと違って、カメラ本体から下の方へ向けて突きだしたグリップを握ってカメラの重量を支える形式のものが多かったので、ちょうどピストルの引き金のようにカメラを握ったときに右手の人差し指がシャッターボタンの位置に来るようになり、シャッターボタンを右手親指で手前に引く形で撮影開始となります。引いた指を放して、撮影終了となります。撮影中は指をずっと引き続けなければならないので、長時間の撮影は苦痛でした。でもビデオカメラのように、撮影停止のつもりで2回目にシャッターボタンを押したつもりが、押せてなくて、延々と無駄な撮影を続け、次の撮影開始のつもりで押したものが、撮影の停止、となってしまう、次のシーンは全く撮影されず、撮影と停止が反転してしまう、というようなことは起こりえなかったように思います。 ■